

学 年	5年	教科・領域	学級活動	副読本P	P36.37
第4章4			家族防災会議を開こう		

仙台市立東四郎丸小学校 5学年

「もしもの時、どんな『そなえ』が必要？」

○ ねらい

地震等のもしもの場合において必要な『そなえ』について考えることで、自分や家族の命と安全を守るのに必要なものは何かを理解する。

学習活動及び発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
<p><b>1 学習課題を知る。(5分)</b></p> <p>みなさんは、「非常持ち出し袋」という言葉を聞いたことがありますか？おうちに用意している人？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞いたことがあります。地震に備えて、必要なものを入れておく袋です。</li> <li>食べ物とか飲み水をいれておく物だね。</li> <li>うちに用意しているよ！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 児童がどのくらい「非常持ち出し袋」について知っているか、また、どのくらいの家庭で準備をしているか大まかに把握する。</li> <li>◇ 課題を提示したならば、「地震の時に必要だと感じたものは何か」と児童に問いかけ、発言させる。本時への学習意欲を高めさせる。</li> <li>◇ 個人で考えたことをグループ内で発表することで考えを共有化させる。</li> </ul>
<p><b>【学習課題】</b>今日は、非常持ち出し袋など、もしもの時に必要な『そなえ』について、みんなで考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「そなえ」か～。何が必要なのかな・・・。</li> <li>やっぱり食べ物と水でしょ。</li> <li>毛布なんか必要だったよ。</li> </ul>	
<p><b>2 個人で考える。(6分)</b></p> <p>一人一人どんな物を非常持ち出し袋に入れるか考えてみましょう。必要だと思う物を10個ワークシートに書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水以外には、着替えかな。</li> <li>毛布とかはどうだろう・・・。</li> <li>薬も必要だね！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ グループ内での発表後、友だちの意見で「なるほど！」「共通点！」「驚き！」を見付けさせる。</li> </ul>
<p><b>3 グループで発表する。(9分)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをグループ内で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「そなえゲーム」について、ゲスト・ティーチャーから説明してもらおう。</li> <li>◇ カードは、全部で30個あることを説明する。もしもの時に、「自分や家族の命や安全を守る」ために必要な物を選ぶよう指示する。</li> </ul>
<p><b>4 「そなえゲーム」に取り組む。(25分)</b></p> <p>「そなえゲーム」をグループで行います。グループごと、カードの中からもしものに備えて必要だと思う物を10個選びましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「そなえゲーム」って何？</li> <li>グループのみんなの意見が分かったから、それを参考に考えてみよう！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ グループで1つにまとめられない時には、いくつかのパターンを提示してもいいことを助言する。</li> <li>◇ 選んだカードを非常持ち出し袋の画用紙に貼るように指示する。</li> <li>◇ 全体に、グループごと「そなえゲーム」の結果を発表し、全体で共有化させる。</li> </ul>

<p>5 全体に発表する。(12分)</p> <p>6 物以外の「そなえ」について、グループで考える。(15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10個か〜。何個の中から選ぶだろう。</li> <li>・ どれも大切だよね…。</li> <li>・ グループ代表者一人ずつ、全体に発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ なぜその物を選んだか、理由も説明するよう指示する。</li> <li>◇ 副読本P37を読み、「非常持ち出し袋」に入れた方がよい常備品の例も提示し、家族と一緒に準備してみるよう助言する。</li> <li>◇ もしもの時の具体的な場面を提示し、その場面に対応できるように事前に備えておく必要があることを考えさせる。</li> <li>◇ グループで出た「物以外のそなえ」について、画用紙に赤マジックで書くよう指示する。</li> </ul>
--	--	---

☆ 場面設定

学校から家に帰りました。家には自分一人です。その時、大きな地震が起きました。電気・ガス・水道が止まりました。電話もつながりません。家族と連絡が取れない状況になりました。大津波警報も発令されました。

【学習課題】

こんな場面に対応できるように、必要な『そなえ』について考えましょう。

<p>7 全体に発表する。(15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「物以外」って何だろう？</li> <li>・ 物は分かるけど、それ以外に必要なことって…。</li> <li>・ 家族と連絡を取れるようにしなきゃいけないよね。</li> <li>・ 津波が来るかもしれないから、学校に避難しなきゃ！</li> <li>・ 避難する場所を家族で話し合うことが「そなえ」なんじゃない？</li> <li>・ グループ代表者一人ずつ、全体に発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 全体に、グループの話合いの結果を発表し、全体で共有化する。</li> <li>◇ 「子ども防災マニュアル」を配布し、家族で話し合ったり、確認したりする必要があることについて、説明する。</li> <li>◇ 本時で、学んだこと・分かったこと・考えたことを視点にして振り返るように助言する。</li> </ul>
<p>8 本時の学習を振り返る。(3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習の振り返りをワークシートに記入する。</li> </ul>	

※「そなえゲーム」とは、プレイヤーが架空の住民になって、「災害に備えるために、自分や地域に何が必要か」について考えながら実践的に学べる参加型のカードゲーム。(作成：市民協働による地域防災推進実行委員会)